
【氷の瞳とただの夢想】

鎌堂成久

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【氷の瞳とただの夢想】

【Zコード】

N7724A

【作者名】

鎌堂成久

【あらすじ】

水使いの夢の話。相手は空気だけでも自分の
を.....
その夢が世界

夕立雲が空を蔽つてしまつた。それが人為的なことだとは誰一人思わなかつたろう。

「あー、振りそうだね。早く帰ろつー。」

悠は誰にともなく、言葉を吐いた。

「つつても、私はまだ帰れないか……」

それから悠がその手に提げていた袋から500ミリのペットボトルを取り出した。それは「ぐく普通の飲料水。

「ああ、そりそり出ておこでよ」

セーラー服姿の悠のスカートがヒラリと翻る。

「なーんだ、そんな簡単に？ 君くらいなら水滴で充分じゃない

不敵に悠は笑う。周りには一人として人間の影は見えない。相手は不透明の空氣だから。

「空氣なんて水に溶けてしまつんだよ？ イコール、私に取り込まれるのよ」

すると新しいペットボトルの蓋を回し、あけた。

『キ、貴様！ ワタシ一何ヲシテイルノダ。ヤメロー。』

空気の支配者が声を上げる。普通の人間にはその声はただの風に過ぎないだろう。だが、感情までもが籠もるその声は突風となつて世界に吹き荒れた。

「人が死んじゃうよ……」

悠のその瞳は冷たい。だが、先ほどの突風で身体のあちこちには擦り傷や切り傷が残つてゐる。

『フン、ソシナコトハドウテモヨイ！ 何故、ワタシヲ貴様ハ消ソウトスル？！』

「可哀想つ。まあ、いいや。ただ、私はこの世を終わらせたいだけなんだよねえ」

空気の支配者が怒つて、竜巻がところどころで起きてゐる。

「じゃあ、逝つちまえ！」

悠が一滴、右の人差し指にペットボトルの水を垂らした。そしてそれは膨張し、その世を包み込んでしまつた。

それは、水が世界を蔽つたときだ。

厭つ！

いつの間にか、悠はベッドにいた。

「あ、夢だ。なんで？ なんで私が、そんなこと……」

悠は水を操れる。だが、世界を破壊しようとは思っていない。

大好きなこの世界が……何故。

だが、それも一瞬のうちにまた意識が深い眠りへと墮ちてしまった。

悠の部屋の窓の外には水滴が浮遊していた。

私は、破壊者だ。

深層心理で悠が呟いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7724a/>

【氷の瞳とただの夢想】

2011年1月8日20時08分発行